

*

2020年度

こどもニュース

ハレルヤ特集

12.4 発行

幼稚園では、11月25日の礼拝からアドベントに入りました。今、アドベントクラ
ンツは2本のロウソクが灯されています。4本目のロウソクが灯された時、待ちに待っ
たクリスマスの日を迎えます。

子どもたちは、クラスやあつまりの中で聖書のお話を聞き、クリスマスについて知って
いきます。クラスでは讃美礼拝の讃美歌を歌ったり、アドベントカレンダーを飾ったり。
クリスマスブックも全園児がもらい、色を塗って世界に1つだけの「自分の本」にして
いきました。今年度も園芸の会の皆さんが素敵なアドベントリースを飾ってくださいま
した。幼稚園が少しずつクリスマスを迎える装いに包まれています。

今年はいつもと違う日常に戸惑い、心の落ち着かない日々が続いています。しかし、
このような時だからこそ全ての人の幸せを願い、クリスマスの日を楽しみに待つこと
ができたと思います。



さて、アドベントの日から、毎日少しずつクラスで飾っているアドベントカレンダー。
今年度は、天使の飾りを作りました。サインペンを使って
顔と洋服を描き、天使の羽は、三角折りをした色紙を切っ
て作りました。顔や洋服が上手にハサミで切れなかったり、
端を合わせて三角に折ることができず困っている年少さん
に、「やってあげようか？」と声をかけ、サッと助けてくれ
たのは年長さんと年中さんでした。アドベントカレンダー
をクラス全員が飾り終わると讃美礼拝当日を迎えます。



子どもたちは、「今日は自分の天使を飾れるかな」と毎日楽しみに待っています。

その姿を嬉しく思います。

(Rina)



クリスマスブックについて



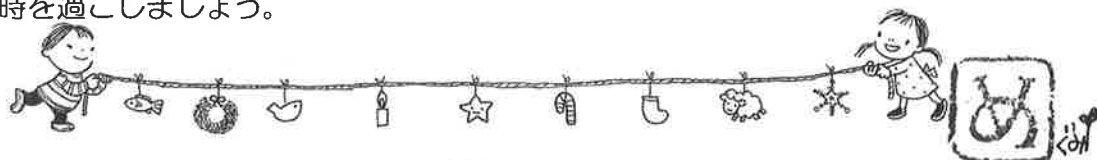
讚美礼拝の準備が始まり、役柄を担う年長児はクリスマスブックを用いながら、イエス様誕生の夜を再現する「ハレルヤ」に少しずつ取り組んでいます。自分の名前が書いてあるクリスマスブックには一人ひとりが担当言葉や歌が載っています。役柄ごとに名前を呼ばれ、ドキドキした様子で受け取ると、早々ページを開き「あった！私のところ」と自分が担当箇所にジーッと見入っていたり、同じ役柄同士で「順番に言うんだよ」「ボクは3番目に言うからね」と確認しあったりしていました。中には「ここが難しい」と繰り返し読んでいた子もいました。こども達にとっては特別な本のようにです。

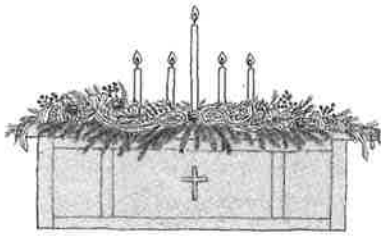
先日年中さん、年少さんも自分のクリスマスブックをもらいました。憧れの年長さんと同じ本！みんな、大喜びでしたよ。クリスマスブックは、毎日リュックに入れて幼稚園に持ってきてください。今年度は残念ながら例年行っていたおうちの方の讚美歌練習もできません。でもこのアドベントの期間、ぜひこども達からクリスマスブックを借りておうちで口ずさんでみてくださいね。イエス様のお誕生を待ち望む気持ちを分かち合いましょう。

このクリスマスブックは幼稚園で何十年も前から (!!)使われているものです。毎年毎年、子ども達の思いや希望を受け止めながら少しずつ改訂を重ねてきました。例えば、ある年『天使』では「言葉よりも歌が歌いたい」という希望が出たことがありました。この時はこども達の意見で「両方あってほしい」と決まったのです。讚美礼拝は劇ではありませんから、イエス様の誕生を喜び迎える姿を聖書にそって表せれば、役柄によっては言葉を増やしたり、衣装のある限り人数を調整したりして、子ども達の希望や思いがなるべく叶うようにと考えています。

またこの先、一人ひとりが言葉を覚えていく中で言いまわしや表現がクリスマスブックとは少し変わるところが出てくるかもしれません。それはこども達が、その役柄を身体を通して理解した時、クリスマスブックに出てくる言葉は単なる「台詞」ではなくイエス様の誕生を祝う、こども達自身の「心の言葉」として表現されるからだと思います。

どうぞ、讚美礼拝当日はこども達の心のこもった言葉に耳を傾けていただき、共に讚美の時を過ごしましょう。





お願い



クリスマスブックは役柄の決定前に印刷、製本を行っています。
こども達がクリスマスブックを持ち帰った時に、今年度の変更箇所の書き換えを各自でお願いいたします。(年長児はすでにハレルヤで使っているため変更済です)

P3 ★ガブリエル

マリヤおそれることはない。あなたはみごもって
おとこのこをうむ。そのこをイエスとなづけなさい。



★ガブリエル

その子の名前を イエスとなづけなさい
かみをしんじましょう ただひたすらに

P3 ★ローマへい

にもつをもって、いそいでかえりなさい。

↓この後に

さあ じゅんぴにとりかかれ！
を加える

P10 ♪さんびか「あるひうまごやで」

↓この後に

★ナレーター⑩

かみは そのひとりごを おあたえになったほどに
よをあいされた。

ひとりごをしんじるものが ひとりもほろびないで
えいえんのいのちを えるためである。

を加える

♪さんびか「もろびとこそりて」

今年度は 1番→4番。その後4番を繰り返します。

以上、よろしくお願いいたします。

年長さん、配役決定のその後・・・



讚美礼拝の配役決定から約3週間が経ちます。子ども達は決定した自分の役にどんな思いで向き合っているのでしょうか。

配役が決まって、1週間が過ぎた頃からハレルヤが始まりました。クリスマスブックをもらったその日から、子ども達は一人ひとりが自分の役を担う責任をしっかりと持っているように感じました。またそれ以上にその役に対しての喜びや愛着も感じ始めていたように思います。自分のセリフや歌うところのページを開いて友だち同士で見せ合っている場面に何度も遭遇しました。また近くにいてその様子をじっと見ている年中さんや年少さんに「これ、クリスマスの大事な本なんだよ」とクリスマスブックについて話している姿も目撃しています。そんなやりとりを通して年中さん・年少さんもクリスマスブックを自分がもらう日を今か今かと憧れを持って待つことができたと思います。



さて年長さんは今、場面ごとに遊戯室で集まり、セリフを言ってみたり歌を歌ったり、立ち位置を覚えたりしています。時折「もう覚えているから大丈夫!」と自信満々な言葉が聞こえてくるようになりました。(その自信はどこから!?)と思うことも多いですが、きっと一生懸命頑張っている自分を信じているからの言葉なのでしょう。ハレルヤが終わって、保育者からの感想を嬉しそうに聞く子ども達です。そして、次はもっと・・・と自分で描いたイメージに近づこうと頑張る子ども達もいます。

ついこの間、ナレーターの子が、少し緊張していたようで出ていくタイミングを間違えたり、セリフも忘れてしまったりということがありました。終わった時「家ではうまく言えたのになあ」と呟きが聞こえてきたそうです。またお風呂で歌の練習をしているとか、お兄ちゃんやお姉ちゃんからアドバイスを受けているなど、家でもハレルヤが続いている子ども達は何人もいることを聞きました。ハレルヤをしている時だけではなく、毎日どこかでクリスマスを迎える準備が進んでいるようです。

どこかで・・・と言えば、最近幼稚園のいろいろな所から♪クリスマスの讚美歌が聞こえてくるようになりました。朝の支度をしながら、手を洗いながら、トイレから聞こえてくることもあります。ある時は一人の鼻歌から始まり、つられるように次々と歌い出し、合唱になっていることもありました。



先日、博士の子ども達に「不思議な星を見つけた時、博士さん達はどんな風に思ったのかな?」と聞いてみると「驚いたよ」「びっくりしたと思う」「嬉しかったんじゃない」とその時の気持ちを考えて、言葉にしていました。ハレルヤでは、ただ言葉や立ち位置を覚えてというのではなく、約2000年前にイエス様の誕生を祝った人たちへ思いを馳せながら、クリスマスを迎える心の準備がなされています。こうしたハレルヤを繰り返し、その役が自分のものになっていくのだと思います。



年中ハレルヤ

クリスマスでの年中さんの役割は、聖歌隊さん！

「聖歌隊さんって何をするの？」という保育者の問いかけに、子どもたちは去年のことをよく思い出しながら、「クリスマスの歌を歌うんだよね」「白いお洋服を着てたよね」「本物じゃない口ウソク持ってた！」と口々に話をしてくれました。

讚美礼拝に向けてやる気たっぷりな子もいれば、初めてのことにドキドキと緊張している子もいます。そんな聖歌隊さんのハレルヤの様子をお伝えします！

素敵に歌うためには……

一回目のハレルヤでは、どんなふうに歌いたいかを子どもたちに聞いてみました。「かっこよく歌いたい」「ステキに歌いたい」「上手に歌いたい」といろいろな答えを返してくれました。そこで、子どもたちには、素敵に歌うための三つのことをお話ししました。

- ① 前を向いて、姿勢よく！
- ② 遠くの人に聞かせるように、大きく口を開けよう！
- ③ クリスマスの嬉しい気持ちで、笑顔で歌おう！

特に、この③つ目の嬉しい気持ちが大切で、歌の上手い下手ではなく、「神さま大好き♡」「クリスマスが来て嬉しい♡」という気持ちを込めて歌いたいね、と子どもたちには伝えました。子どもたちは、うんうん、と真剣に頷いてくれました。

ハレルヤの時間は、あつまりの時間とは違い、小学校のように一方向を向いている椅子に座る形で行っています（普段のあつまりの時間は、保育者用の椅子を前にして、フロアに座って集まっています）。そのため、いつもの年中あつまりとは違う気持ちで参加している子も多いようです。いつもとは違う特別な時間にちょっぴりドキドキ……、でも聖歌隊さんとしてのハレルヤの時間があることに自分たちが昨年よりも大きくなったことを感じているようです。

ハレルヤの中では讚美礼拝での讚美歌を歌うだけではなく、クリスマスについてや歌詞の意味を知る時間にもなっています。その一つひとつのお話を、一生懸命聞こうとする姿が印象的でした。

歌う前には毎回、ストレッチや発声を行っています。ハレルヤは朝の自由遊びの時間に行っているため、まだ身体が起きたばかりの子もいます。ぐ～っと伸びをし

たり脱力したりしながら身体をほぐして、歌うために身体を整えていきます。

そして、顔の柔軟体操もしています！ ほっぺをむにむにと揉んでみたり、大きなあくびをしてみたり（あくびをするように喉を開くと、いい声が出るのです！）、アッハッハッハ！と大笑いしてみたり（口角を上げることはもちろん、笑うことで腹筋も鍛わります）……。

子どもたちが一番好きなのは、口を大きく動かして「あ・い・う・え・おー」と言うことのように、いつも以上に口を動かすのでお互いが変な顔になっているのを見てクスクス…と笑っている子もいます。タコのように口を尖らす「う」と口を左右いっぱい引っ張る「い」を続けて「う・い・う・い……（だんだん早くしていきます）」と言っていくと、顔もぼかぼかしてきて歌う準備はバッチリに！ どんな感じで行っているかは、ぜひお子さんに聞いてみてください！



待ってました!!

年長さんに続いて年中さんにもクリスマスブックを渡しました。前々から、「聖歌隊さんにもクリスマスブックはあるの?」「いつもらえるの?」と楽しみに待っている姿がありました。「今日は聖歌隊さんの分のクリスマスブックも持ってきたよ!」との保育者の言葉には歓声が上がるほどでした。

このクリスマスブック、おうちの方たちにも歌を教えてね、一緒に歌ってみてねと話をしています。ぜひ、おうちの方たちも子どもたちと一緒に歌っていただき、クリスマスが近づいてくる日々を感じていただけたらと思います。……と思っていたら、早速子どもたちの方から「お姉ちゃんと歌ってみた!」「お母さんに歌を教えてもらった!」と教えてくれました。

聖歌隊さんでは、毎回新しいことを一つずつ増やして行っています。例えば、新しい歌だったり、クリスマスブックを渡すことだったり、並び順だったり……。ハレルヤの最後には、次のハレルヤで何をするか、どんな新しいことをするかの予告を行うのですが、毎回「やったー!!」と歓声が上がります。やる気十分、気合十分の聖歌隊さんです。

一つずつ新しいことが増えていくにつれて、クリスマスが近づいてきています。それと同時に子どもたちの中には、クリスマスの喜びが溢れていくように感じています。讚美礼拝当日、子どもたちが「クリスマスが来て嬉しい♡」「神さま大好き♡」という気持ちいっぱい歌ってくれるのを楽しみにしています。 (ゆか)



年少ハレルヤ

「クリスマス」って知ってる？

年少さんにとっては、初めてのハレルヤの日。クリスマスの本当の意味を、紙芝居を使いながら子どもたちに伝えました。最初は、「クリスマスはサンタさんの日！」「プレゼントがもらえる！」「ケーキをみんなで食べるの！」などと、今まで経験してきたことを嬉しそうに話していた子どもたちも、クラスやあつまりの時間にクリスマスのお話を聞く中で、「クリスマスはイエスさまの誕生日であること」を少しずつ知っていきました。



わたしの役は何にしようかな？

年少さんは、3つの役の中から1つ選ぶことができます。ハレルヤの時間に、みんなでリズム遊びをしてみました。不思議な魔法がかかると…最初は「星」に変身！音楽に合わせて手をキラキラしながら歩く姿が、とってもかわいい♡次は「天使」に変身！手を羽のように広げ、軽やかに～♪舞うように～♪…と思ったら、子どもたちは、トンボのように勢いよくダッシュで走り出しました(笑)。最後は、「羊」に変身！四つ這いになって歩き、♪きらきら星♪の音楽が流れると、スヤスヤスヤ…。讚美礼拝の中でも、羊さんは眠る場面があるんです。

そして先週、あつまりの時間に年少さんも配役決めをしました。クリスマスクイズをして役を思い出し、素敵な衣装も紹介しました。綺麗なケープを見て、「わぁ♡」と、歓声。星の形の冠を見て、「星の衣装だ！」と大正解！続いては、羊の衣装。白い上着を見て、「ん???」。羊の冠は、ふわふわの綿がついていますが、やっぱり「・・・」。ヒントを出して、なんとか正解！最後は天使の衣装です。王冠のような冠を見た子どもたちの第一声は、「おうさまーっ!!」(笑)。確かに…でもね、ちょっと違うのよ…と話す保育者のことなんてお構いなしで、王様だ！と盛り上がる子どもたち。その中で1人の子が手を挙げて、「天使？」とこたえてくれました♡その後、子どもたちは自分でよく考え、ひとりひとりが役を選びました。

今週は、憧れの「クリスマスブック」を渡しました。子どもたちはとっても嬉しそうに受け取り、表紙を開いて見ていました。クリスマスブックには、讚美歌の楽譜も載っています。ぜひ、おうちの方も一緒にたくさん歌ってくださいね♪



秋の暖かで穏やかなお天気のもと、毎日子どもたちは落ち葉や木の実を集めたり、虫や小鳥の鳴き声に耳を傾けたり、自然の豊かな恵みを感じながら、元気いっぱい遊んでいます。一方で新型コロナウイルス感染がじわじわと広がりを見せています。子どもたちひとりひとりが予防の意識が高められるように、手洗いうがいや鼻のかみ方、咳やくしゃみをするときのエチケット、食事のときのマナーを今一度見直してゆきたいと思います。



クリスマスって知ってる？

収穫感謝礼拝から合同礼拝に参加しているにじぐみさん。牧師先生のお話はまだ少し難しいかもしれませんが、ゆったりと優しくお話して下さる牧師先生の言葉に「イエスさま」「かみさま」など知っている言葉を耳にすると、はっとして目を輝かせる子もいます。お部屋ではクリスマスがイエス様がお生まれになった日なんだよと伝えると「えーっ!？」と驚いている子や、そもそも「クリスマス」という言葉が「何だろう?」と不思議そうにしている子もいます。

そんな時は改めてクリスマスの本当の意味を伝えることの喜びや難しさを感じます。絵本や紙芝居、パネルシアターを使って2000年以上前に起きた物語を少しずつお話しして、アドベントの時期を子どもたちがワクワクしながら過ごしてゆけたらと思います。



歌ってお祝いしよう!

にじぐみのクリスマス礼拝ではパネルシアターによるクリスマス物語を見ながら讃美歌を歌ってお祝いをします。他にも耳にしたことのあるクリスマスソングを手話やリトミックで、体全体を使って歌詞やリズムを感じながら楽しんでいます。ぜひうちでもお子さんと一緒に歌ってみてくださいね♪

～ にじぐみのクリスマス礼拝でうたう 讃美歌 ～

『クリスマスのおはなし』

『やどさがし』

『よろこびうたにえハレルヤ』

『ひがしのくにより』

『あるひうまごやで』

Akie